47都道府県プロファイル 2024年1月~2024年06月

新潟県

「キルギスからの人材受け入れにむけて一層活発な交流を」

元駐日大使らが新発田市役所を表敬訪問 新潟

2024/05/31

新潟県新発田市の市長や経済団体が今年7月、 中央アジアのキルギス共和国を訪れ、

人材受け入れについて政府と協議するのを前にキルギスの元駐日大使らが28日、市役所を表敬訪問しました新発田市の伊藤純一副市長に面会したのはキルギス日本ビジネス協議会の会長で

リスベク・モルドガジエフ 元駐日大使ら 15人です。一行は27日から2泊3日で 長岡市や南魚沼市など新潟県内を回り長岡技 術科学大学とは28日、アラバエフ・キルギ ス国立大学が学術交流協定を締結しました



https://www.nishinippon.co.jp/item/n/1149779/

在留外国人が過去最多の341万人、前年から10%超の増加 技能実習や特定技能などの就労目的が増加、新潟県は2万1500人

2024/03/25

出入国在留管理庁は3月22日、20 23年末時点の在留外国人数が過去最 多の341万992人だったと発表し た。前年比10・9%増で、2年連続 で最多を更新。技能実習や特定技能な ど就労目的の在留資格が伸びた。新潟 県は2万1558人で前年比12・ 8%増だった。



訪問介護に「特定技能」「技能実習」の外国人材、2024年度中に

も従事「解禁」へ 厚生労働省、介護分野の労働力確保狙う

厚生労働省は3月22日、介護現場 で「<u>特定技能</u>

」の在留資格などで働く外国人材が、 現在認められていない<u>訪問介護</u>

サービスに従事することを解禁する 方針を有識者検討会に示した。大筋 で了承されたため、早ければ202 4年度中にも解禁される...



人材不足の建設業や観光業…インドネシアからの技能実習生が救い手に! 新潟湯沢町が受け入れ体制整備へ 訪問やセミナーで交流進む

新潟県湯沢町は、建設業者が抱える 慢性的な人材不足の解消に向け、イ ンドネシアからの技能実習生の受け 入れに力を入れる。町がこれまで 培ってきたインドネシアとの交流を 足がかりに連携を深めていくほか、 受け入れ体制を整備し、建設業だけ でなく、観光業の人材確保にもつな げていく考えだ。 湯沢町とインド ネシアは、インドネシアのアディヤ クサ法科大学の教員で、湯沢をPR する「ミス駒子」に選ばれたことも

ある春名尋子

2024/04/15



田村正幸湯沢町長を表敬訪問したインドネシア 労働省の視察団=湯沢町役場

新潟県長岡市の大光銀行と在留外国人採用に関する業務提携

2024/05/27

Guidable株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役:田邉 政喜、以下Guidable)は2024年5月27日に、株式会社大光 新潟県長岡市、頭取 石田 幸雄)と外国人採 銀行(本店 用サービス「Guidable Jobs」に関する業務提携契約を締結 しましたので、お知らせします。代表取締役の田邉が新潟県 長岡市出身であり、長岡に根ざした大光銀行との取り組みは、 地方銀行として初の業務提携契約の締結となりました。この 業務提携により、日本全国の地域経済が抱える喫緊の課題で ある若年層の人手不足を外国人採用を進めることで解消し、 地域経済の持続的な発展と地方創生に貢献します。具体的に は、長岡市を中心とした人手不足に悩む地場企業に対して、 「Guidable Jobs」を紹介し、外国人雇用の拡大を促進しま





https://www.nishinippon.co.jp/item/n/1149779/

マダガスカル若手農業者が日本での就労を目指し来日 ~新発田市

で就業体験

2024/05/04

JICAでは、マダガスカルの若手農業者を日本へ送り出すパイ ロット事業を実施しております。今後、日本において外国人労 働者の需要が益々高まる中、新たな国からの送り出し、そして 送り出し元国への還元、の可能性を検討することを目的とした ものです。マダガスカルは、アフリカ大陸の東、インド洋に浮 かぶ島国で、アフリカの中でもアジアに地理的・文化的に近い 国の一つです。日本語学習者もアフリカ地域ではエジプトに次 いで多く、今後送り出し国となるポテンシャルが高いと考えら れます。JICAは特に農業分野に注目し、米や多様な果樹・野菜 など日本と共通する農産物が多く、日本から還元できる知識・ 経験が多いと考え、農業人材を対象として本パイロット事業を 開始しました。



2023年10月に来日した際の就業体験の様子

マダガスカル若手農業者が日本での就労を目指し来日 ~新発田市で就業体験~ | 日本国内での取り組み - JICA

【変わる外国人技能実習制度】「この会社に残りたいと思える環境づくりが大事」ベトナム人材を受け入れて6年、全研ビルサービス(新潟県三条市) 2024/03/31

実質的に人材確保の一手段として存在感を放っていた外 国人技能実習制度が、大きな転換期を迎えている。新制 度の中で特に注目を浴びるのが、「転籍(転職)」の ハードルが大きく下がった点だ。特に、本県・新潟も含 めた地方では、人材の流出が危惧される。「転職可能で あっても、この会社に残りたいと思えるような(外国人 材に)満足してもらえる環境づくりが大事 | そう話すの は、 株式会社全研ビルサービス (新潟県三条市) の佐藤 典保代表取締役社長。同社では技能実習生を受け入れて 6年。言語の違いなどで苦慮した面もあったが、住居の 整備やマニュアルの制作などでノウハウを蓄積。また、 今後の海外での事業でも外国人人材の起用を目指す。



【変わる外国人技能実習制度】「この会社に残りたいと思える環境づくりが大事」ベトナム人 材を受け入れて6年、全研ビルサービス(新潟県三条市)|新潟県内のニュース

日本での就労目指し学ぶ若者

徴兵制、無事出国できるか不安も

ミャンマーでは、政情不安もあって日本など海外 での就労に人気が集まっている。軍事政権による 徴兵制の導入発表もあり、海外人気は一段と高ま る見通しだ。こうした中、現地では海外への脱出 を目指して語学学校の門をたたく若者が増えると みられる。だが、海外就労は苦労も多い。日本で は、技能実習生などの「失踪」が社会問題化して いる。語学学校は、こうした問題にどう対応して いるのか。最大都市ヤンゴンの日本語学校「夢行 き」を取材した。

2024/02/28



ヤンゴンの日本語学校「要行き」で学ぶ学生たち=1月26日、ミャンマー(NNA)

日本での就労目指し学ぶ若者 - NNA ASIA・ミャンマー・社会

【県内で空き家を狙った窃盗続出】警察が注意喚起、技能実習生として入国したベトナム国籍2人を窃盗などの疑いで検挙

新潟東警察署・新潟警察署・新潟西警察署・江 南警察署・新潟中央警察署・秋葉警察署・新発 田警察署・阿賀野警察署・五泉警察署・県警機 動捜査隊・県警捜査第三課は1月29日までに、 住居不定無職のベトナム国籍男性(33歳)と、 同じく住居不定無職のベトナム国籍男性(35) 歳)を、出入国管理及び難民認定法違反、邸宅 侵入、窃盗未遂・窃盗事件の被疑者として検挙 した。

2024/01/29



新潟東警察署

https://www.nishinippon.co.jp/item/n/1149779/

「不審者がいる…」解体工事現場に侵入した男を現行犯逮捕

銅線約238kg盗んだ疑いで共謀の男も逮捕

6月16日未明、新潟市秋葉区にある建物の解体工事現場に 侵入した疑いで解体工の23歳の男が現行犯逮捕されました。 また、男と共謀し、銅線約238kgを盗んだ疑いで解体工 **の23歳の男が逮捕されました。**建造物侵入で現行犯逮捕さ れたのは、新潟市江南区に住む解体工の男(23)で、建造物 侵入と窃盗の疑いで逮捕されたのは新潟市西区に住む解体工 の男(23)です。現行犯逮捕された男は15日午後10時ご ろから16日午前0時過ぎまでの間、窃盗の目的で新潟市秋 葉区内の建物解体工事現場に侵入しました。また、この男と 共謀した西区の男は窃盗の目的で建物解体工事現場に侵入し、 銅線約238kg(時価約23万8000円相当)を盗んだ 疑いが持たれています。

2024/06/17



「不審者がいる…」解体工事現場に侵入した男を現行犯逮捕 銅線約238kg盗んだ疑いで 共謀の男も逮捕 | 新潟ニュース NST 47都道府県プロファイル 2024年07月~2024年12月

新潟県

新潟 神社の石柱倒れミャンマー国籍技能実習生 頭を打ち死

2024/10/09

8日午後3時前、新潟市西蒲区越前浜の「鳥之子神明社」で境内にある石の柱が倒れて、配水管の改修工事を行っていたミャンマー国籍の技能実習生、ナイン・ミン・トゥンさん(20)にあたりました。ナイン・ミン・トゥンさんは頭を強く打って病院に搬送されましたが、搬送先の病院で死亡が確認されました。倒れた石の柱は高さおよそ180センチ、縦と横がそれぞれおよそ25センチだということです。

当時現場では日本人の作業員2人を含む3人が配水管の改修工事を行っていて、ナイン・ミン・トゥンさんは倒れてきた石の柱のそばで地面をならす作業をしていたということです。



新潟 神社の石柱倒れミャンマー国籍技能実習生 頭を打ち死亡 | NHK 新潟県のニュース

【偽造書類で20万円を詐取】知人男性の名前で金融機関を騙す

フィリピン国籍男性(33歳)を逮捕(新潟県三条市) 2024/10/30

三条警察署は10月30日8時58分、新潟県三条市塚野目在住で技 能実習生のフィリピン国籍男性(33歳)を有印私文書偽造・同 行使、詐欺の疑いで逮捕した。逮捕された男性は、9月下旬、 三条市内の金融機関において、知人男性の名前などを記載した 払戻請求書1通を偽造し、通帳とともに金融機関の係員に提出 して騙し、現金20万円をだまし取った疑いがもたれている。 名前を利用された知人男性の関係者が警察に通報し、事件が 発覚。その後、警察による捜査の結果、フィリピン国籍男性 (33歳) の逮捕に至った。



【偽造書類で20万円を詐取】知人男性の名前で金融機関を騙す、フィリピン国籍男性(33歳) を逮捕(新潟県三条市) | 新潟県内のニュース

ベトナム人広域窃盗グループの捜査が終結、被災地などの空 き家に侵入し犯行繰り返す

2024/11/19

上越警察署、糸魚川警察署、県警捜査第三課、長岡県警、石 川県警、富山県警、栃木県警の合同捜査班は11月18日、住居 不詳で無職のベトナム国籍男性(35歳)ら5人による広域連続 侵入窃盗事件の捜査を終結したと発表した。書類送致された5 人は、24歳から35歳までのベトナム国籍男性。なお、5人の 中には、技能実習生の名目で入国し、実習先から行方をくら まし超過滞在になっている者もいるという。同郷の者やSNS を诵じて知り合ったものもおり、グループを形成して犯行に 及んでいたものとみられる



新潟県晋原本部

【総被害額2,500万円】ベトナム人広域窃盗グループの捜査が終結、被災地などの空き家に侵入し犯行繰り返す | 新潟県内のニュース

ニイガタの企業が続々と『ベトナム』へ… 新潟県知事訪問団 同

行記

ベトナムと新潟の経済交流について、新潟からベトナムに進出 している企業やビジネスマッチングの取り組みの観点から記し ます。新潟県新発田市の精密機械メーカー・TOWAが、ベトナ ムに進出したのは今から28年前。県内企業のベトナム進出の さきがけとなりました。ベトナム最大の都市ホーチミンから南 西へ130kmのところにあるビンロン省に、4つ目の工場となる 「サザンスター工場」があります。この工場では、ミシンのボ ビンケースやミクロン精度の加工技術を使った自動車部品のほ か、圧力制御バルブなどを生産しています

2024/09/02



インド人材確保、日本の官民が一丸 地方が熱視線、「5年で5万人」目標も

「多くの日本の大学は最も優秀で賢い学生や研究者を招きたい と強く望んでいる」。10月中旬、ニューデリーで開かれた 「第3回日印大学等フォーラム」に登壇した北海道大の宝金清 博総長はそう強調した。 日印合わせて70を超える大学・研 究機関のトップらが出席。連携拡大に向けトップ同士による面 談も行われた。今回初めてインドで開かれた。主催した科学技 術振興機構の担当者は「優秀な大学はIIT(インドT科大) だけでなく、私立や地方にもある。裾野を広げるために来る必 要があった」と狙いを語った。参加した長岡技術科学大(新 潟県長岡市)の宮下幸雄教授は、地元企業からインド出身の卒 業生を求める声を聞くと話す。

2024/11/17



ニューデリーで開かれた「第3回日印大学等フォーラム」の参加者=10月19日

日本での生活 安全に 外国人市民向けに防火研修 上越地域消防局 2024/12/14

外国人市民に向けた防火研修会が13日、上越市藤野新 田の上越地域消防局で開かれた。参加者は火の取り扱い 方や緊急通報の方法、初期消火訓練など防火に関する情 報や知識を座学や実験で学び、安全な生活に備えた。 技能実習などで来日する外国人は年々、全国で増えてお り、同消防局管内にも多くの外国人が就労、居住してい る。研修会は国籍を問わず市民に安全・安心な生活を 送ってもらいたいと、同局予防課が外国人市民を対象に 初実施。同日はフィリピン、ベトナム、ミャンマーから 来日し、上越、妙高両市の3事業所で働く28人が参加



緊急通報の訓練を体験する参加者

日本での生活 安全に 外国人市民向けに防火研修 上越地域消防局:上越タイムス社

介護現場の外国人材受け入れ、新潟県内でも加速、人手確保へ膨らむ期待

言葉など定着に課題も

2024/11/25

新潟県の介護現場で、外国人材を受け入れる動 きが加速している。背景には、慢性的な人手不足 に加え、高齢化に伴う介護需要の増加がある。厚 生労働省の推計では、2026年度に全国で約1 9万人、県内で1274人の介護職員(常勤換 算)が不足する見込みだ。人手確保は急務で、外 国人材に担い手として期待がかかるが、言葉や定 着の難しさなど課題も浮かんでいる。



利用者に声をかけるリタ・メリージェーン・ハ グレーさん=津南町

<u>介護現場の外国人材受け入れ、新潟県内でも加速、人手確保へ膨らむ期待 言葉など定着に課題も|新潟日報デジタルプラス</u>

ミャンマー人技能実習生の外食研修スタート新潟県燕市の飲食業が協力、

店舗で仕込み作業学ぶ

2024/09/29

ミャンマー人技能実習生受け入れのための施設「The 研修ハウス With ヤンゴン」(新潟県燕市吉田西太田)は、飲食業のよね蔵(くら)グループ(燕市)の協力を得て、外食産業で働く人材の育成に向けた研修を始めた。 研修ハウスは5月、旋盤加工のイワセ(燕市)が開設した。これまでに15人ほどが巣立ち、新潟県内外で製造業や介護職などに就いている。



開店前の飲食店で、料理長から下ごしらえを学 ぶミャンマー人男性=燕市吉田下中野